

3 農地バンク貸付実績が2年連続県内No.1

担い手農業者への農地集積の推進

磐田市は、農地バンクを活用した土地所有者から担い手農業者への農地貸付実績で、令和3年度の県内ナンバー1となりました。貸付面積は167.3haで、これは県内の貸付面積1,062.5haの15.7%を占めることとなります。

1 過去5年間の農地貸付実績

	県内貸付面積 (A)	磐田市貸付		備考
		面積(B)	%(B/A)	
H29(2017)年度	826.9ha	309.8ha	37.5%	県内1位
H30(2018)年度	891.8ha	56.7ha	6.4%	県内7位
R元(2019)年度	609.9ha	37.6ha	6.2%	県内8位
R2(2020)年度	1,294.8ha	195.9ha	15.1%	県内1位
R3(2021)年度	1,062.5ha	167.3ha	15.7%	県内1位

※令和3年度貸付実績の主なものは、東部地区や西南地区などで地域での話し合いにより農地集積を推進する協議会での新規契約(42ha)や福田地区のJA転貸から農地バンクへの契約更新(41ha)です。

2 農地貸付のメリット

- ・農地所有者：土地管理の安心感(管理負担なし、契約の見える化)
賃料徴収の安心感(転貸者から一括支払い)
- ・担い手耕作者：経営基盤の確保(契約の見える化)
農地集積による規模拡大、農地集約による作業効率化
賃料支払いの効率化(転貸者への一括支払い)

3 担い手への農地貸付推進方法

認定農業者や認定新規就農者の経営基盤の安定化と負担軽減を図ることを目的に、今年3月に締結した連携協定に基づき、関係機関(JA遠州中央・農業振興公社・県・市農業委員会)と連携して担い手への集積を進めます。

4 令和4年度の予定

西南地区や竜洋地区での貸付けの契約更新や東池田地区の新規貸付契約が予定されており、約130haの貸付が見込まれます。